

浜松市立伊目小学校 コミュニティ・スクールだより

令和7年度 NO.1

①コミュニティスクールについて

学校運営協議会を設置している学校のことです。伊目小学校はおかげさまで5年目になりました。学校運営協議会には、保護者や地域の皆さんも学校運営の当事者として計画作りから加わりますので、参加された皆さんの声を生かした学校運営ができ、地域と一緒に「特色ある学校づくり」を進めていきます。

②第1回学校運営協議会開催の様子

4月10日(木)に開催された今年度最初の学校運営協議会では、学校運営協議会としてどんなことができるか、またどんな目標を立ててこの1年を活動していくかについて協議しました。各委員さん2名ずつに分かれて個別討議しながら、熟議を進めていきました。各委員から、積極的に熟議に取り組み、たくさんの意見や考えが出されました。主な意見としては、

- 学校運営協議会として楽しい行事・活動になるようにたくさんのアイデアを出して、具現化していくこと
- いじめは絶対に許さないという空気を地域で作っていくこと
- 今年度の目標を「持続可能な地域と共にある学校づくり」とし、その目標達成に向けて努力することなどです。元気で明るい伊目っ子がますます輝き、児童、職員、保護者、地域が笑顔になる学校づくりに向けて努めてまいります。

③コミュニティ・スクールで期待される効果

◆子供たちにとって

- ・学校だけでは実現できない豊かで多様な体験や学びが充実します。
- ・多くの人と関わることで、夢と希望を持つことができます。
- ・地域の担い手としての自覚が高まります。

◆保護者にとって

- ・保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。
- ・学校や地域に対する理解が深まります。
- ・地域の中で子供が育てられているという安心感があります。

◆教職員にとって

- ・地域のみなさんの理解と協力を得た学校運営が実現します。
- ・地域のみなさんの協力により、教育活動の充実と子供と向き合う時間の確保につながります。

◆地域のみなさんにとって

- ・経験を生かすことで、子供たちや地域の役に立っているという充実感につながります。
- ・学校と連携・協働して子供たちを育てることにより、地域活性化につながります。

④伊目小学校運営協議会委員の皆さん

会長

影山純市(元自治会長)

副会長

加茂俊武(浜松市議会議員)

委員

白柳和義(前学校運営協議会会長)

小林隆志(自治会長)

白柳雅臣(みのり会会長)

影山陽一(伊目祭典実行委員長)

久保直人(学校支援CD)

坂本 進(子ども会会長)

長谷川郁展(PTA会長)

袴田雄大(PTA副会長)

学校支援CD 太田かおり

